

STZ-DR06

通信型ドライブレコーダー

取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明のとおり正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(P.6～P.9)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、国外で使用することはできません。



目次

ドライブレコーダー機能ガイド	3	録画画面のインジケータ 30
セットアップ機能について	3	イベント・アラート発生画面 30
録画機能について	3	各種設定をする 31
運転支援機能について	4	ビューアースoftを使う 32
付属品	5	ソフトをインストールする 32
安全上のご注意（必ずお守りください）	6	ファイルを再生する 32
内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵 しています）	10	映像から静止画を出力する 36
使用上のご注意	11	走行情報を出力する 36
取り付けについて	11	ファイルをバックアップする 36
ご使用について	11	故障かな？と思ったら 37
本機のお手入れ	12	共通 37
イベント発生時の動作について	12	表示メッセージと音声ガイド 38
本機で使用するSDカードについて	12	付録 40
SDカード使用上のご注意	12	運転支援機能について 40
ファームウェア更新について	13	モニター画面について 40
内蔵電池について	13	測位衛星(GPS、GLONASS(グロナス)、 みちびき)の受信について 40
各部の名称とはたらき	14	LTE通信について 40
取り付けかた	16	商標、ソフトウェアに関する 重要なお知らせ 41
取り付け手順	16	フォルダ / ファイル構成 42
推奨取付位置	18	STZ VIEWER for FLEET 動作環境 42
配線のしかた	22	主な仕様 43
ソケット用ケーブル（付属品）の接続	22	ソフトウェアに関する重要なお知らせ 44
内部配線用ケーブル（付属品）の接続	23	本製品のソフトウェアライセンスについて
取りはずすときは	24	アフターサービス 45
車両に合わせて調整する	25	修理に関するご相談は 45
車両に合わせて調整する	25	修理を依頼されるときは 45
ご使用の前に	28	商品に関するお問い合わせ 45
電源のオン / オフについて	28	お問い合わせ窓口 45
電源オン時の録画と記録	29	
常時録画	29	
イベント記録	29	

- ・本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。本機は自動でファームウェア更新を行なうため、実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カード（以降 SD カード）に映像を記録保存します。
必ず付属の SD カードを挿入してからお使いください。

P.16

セットアップ機能について

本機は電源を最初に入れたときにセットアップメニューが表示されます。
システム基本設定画面の指示にしたがって設定を行うことで、取り付けに関する基本的なセットアップが完了します。MENU 画面からも同様にセットアップ機能で設定を行うことができます。
(→ P.31)

録画機能について

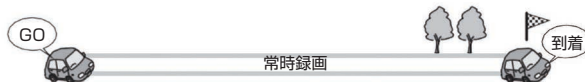
本機は運転中（画面中央に録画中の表示が出ている間）の映像を録画することができます（常時録画）。

さらに、運転中に車両に大きな衝撃が加わった前後の映像を録画することができます（イベント記録）。

常時録画

P.29

運転中（画像中央に録画中の表示が出ている間）常に録画しています。



イベント記録

P.29

本機が衝撃を検知または運転支援機能のアラートがするとイベント記録を開始します。



■ 録画ファイルの上書き保存について

録画ファイルは、常時録画とイベント記録に分けて保存しています。SD カード内のそれぞれの録画領域がなくなると、録画日時の古いファイルから上書きして録画します。

運転支援機能について

本機は運転している際、前方の車に近づきすぎたときや、走行車線をはみ出したとき等に、アラートでお知らせします。

付録の「運転支援機能について」(→P.40) もあわせてご覧ください。

アラート名称	概要
前方衝突アラート	走行中に前方車両と衝突の危険があると判断したときにお知らせします。
車線逸脱アラート	走行中に車線を逸脱したときにお知らせします。 逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しないときがあります。
急加速・急減速	急加速・急減速を検知した場合にお知らせします。
急ハンドル	急なハンドル操作を検知した場合にお知らせします。
居眠り※	居眠りと思われる状態を検知した場合にお知らせします。
わき見※	上下のわき見を検知した場合にお知らせします。 基本的に、左右の検知は行いません。

※ ドライバーモニタリングシステムについて

本機は、専用サブカメラと合わせて使用することで、重大事故につながりやすいドライバーの行動を検知し、アラートでお知らせします。

お知らせ

下記のご利用にあたっては、別途お申込みが必要となります。
前方衝突アラート、車線逸脱アラート、居眠り、わき見

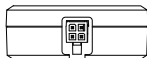
付属品

本機の取り付け、配線、ご使用の前に、すべての付属品が入っていることを確認してください。

取付ブラケット x 1
(両面テープ付き)



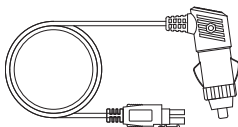
DC アダプタ



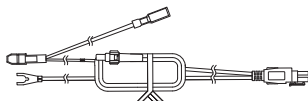
DC アダプタ
ケーブル (5m) x 1



ソケット用ケーブル (2m) x 1 (※1)



内部配線用ケーブル (1m) x 1 (※1)



microSDHC カード
(32/64 GB) x 1 (※2)



ケーブルクリップ x 10



SD カードカバー x 1



- ・ ケースに入っている、小さい方が microSDHC カードです。大きい方はパソコン等で録画ファイルを再生するとき等に使用する SD カード変換アダプタです。

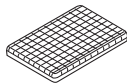
専用 (特殊ネジ) ドライバー x 1



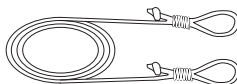
専用クリーナー x 1
(個装袋に入っています。)



面ファスナー x 1



落下防止ストラップ x 1



※1 同梱品はご注文時の構成により異なります。ご注意ください。

※2 32/64GB のいずれかの microSD カードが入っています。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意（警告を含む）が必要なことを示す記号です。



してはいけない行為（禁止行為）を示す記号です。



必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号です。

免責事項について

この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によってお客さま、または第三者が受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- ・個人が楽しむ場合であっても、権利者に無断で録画・撮影・録音することはできない場合があります。
- ・録画・撮影・録音することが権利者によって許可されていても、個人で楽しむ視聴以外の利用が許可されていない場合があります。

警告

取り付けや配線について



■本機は DC12V/24V \ominus アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V \ominus アース車以外で使用しないでください。



■エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない









エアバッグの誤動作や動作したエアバッグでドライブレコーダーがはずれて、死亡事故やケガの原因となります。エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。



■視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしない

交通事故やケガの原因となります。

	<p>■ 取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない</p> <p>交通事故やケガの原因となります。</p>
	<p>■ 本機は保安基準の取付許容範囲外に取り付けない</p> <p>視界不良や本機がはずれ、事故の原因となります。</p>
	<p>■ 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する</p> <p>取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするとうちに重大な故障をきたし交通事故の原因となります。</p>
	<p>■ 説明書に従って取り付け・配線をする</p> <p>火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。</p>
	<p>■ 作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する</p> <p>車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>■ 必ず付属の部品や指定の部品を使用する</p> <p>機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。</p>
	<p>■ ケーブル類は、運転を妨げないように引き直し固定する</p> <p>ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。</p>
	<p>■ 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないように配線する</p> <p>断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。</p>
	<p>■ ケーブルの被覆のない部分はテープなどで絶縁する</p> <p>被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。</p>
	<p>■ 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する</p> <p>車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。</p>
	<p>■ ねじなど小物部品やSDカード、はがした剥離紙は乳幼児の手の届かないところに置く</p> <p>誤って飲み込むおそれがあります。万が一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。</p>
	<p>■ 本機に付属のソケット用ケーブルを使用する</p> <p>本機はソケット用ケーブルで電源の12V/24Vを5Vに変換して本体に供給しています。付属以外のソケット用ケーブルを使用したり、ソケット用ケーブルを改造することは絶対におやめください。火災、感電の原因となります。</p>
	<p>■ ソケット用ケーブル、DCアダプタケーブルは確実に差し込む</p> <p>確実に差し込まない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。</p>
	<p>■ ソケット用ケーブル、DCアダプタケーブルを抜くときは、プラグを持って抜く</p> <p>ケーブルが破損し火災、感電の原因となります。</p>

	<p>■ ドライブレコーダーを長時間使用しないときは、電源ケーブルを抜く</p> <p>車種によってエンジンを切ってもアクセサリソケットに電気が供給されている場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。</p>
	<p>■ 電源ケーブルは定期的に清掃する</p> <p>ほこりが付着していると火災の原因となります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となります。</p>
使用方法について	
 分解禁止	<p>■ 分解・修理および改造はしない</p> <p>分解・修理、改造、ケーブルの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。 また、本機の改造や改造した機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法違反になります。</p>
	<p>■ 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない</p> <p>車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。</p>
	<p>■ 機器内部に、水や異物を入れない</p> <p>金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。また、故障の原因となりますので、飲み物などが機器にかからないようご注意ください。</p>
	<p>■ 故障や異常な状態のままで使用しない</p> <p>画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする等の場合は、ただちに使用を中止して電源ケーブルを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。</p>
	<p>■ 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない</p> <p>必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。</p>
 感電注意	<p>■ 雷が鳴り出したら、電源ケーブルや本機に触れない</p> <p>落雷による感電の原因となります。</p>
医用電気機器近くでの取り扱いについて	
	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を 22cm 以上離して使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。</p>
異常時のお問い合わせ	
	<p>■ 異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず本書記載のお問い合わせ窓口に連絡する (→ P.45)</p> <p>そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。</p>

注意

取り付けや配線について



■ **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



■ **機器の通風口や放熱板をふさがない**
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



■ **ケーブルの扱いに注意する**

ケーブルを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について



■ **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



■ **走行前に本機の取付状態を点検する**
本機の脱落、落下などにより、けがや交通事故の原因となることがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな？と思ったら」（→P.37）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、電源ケーブルの抜き差しをして再起動してください。再起動しても正常に戻らないときは、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。（→P.45）

本機はGPS 機器を搭載しています。
取得する走行データには、位置情報が含まれます。

内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

⚠ 危険



■ **ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しないでください。**

火災、やけど、けがなどの原因となります。



■ **本機の内蔵電池を取り外そうとしないでください。**

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



■ **内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



■ **内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**

内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



■ **内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

⚠ 注意



■ **本機を落としたら使用を中止してください。**

本機を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷しているおそれがありますので、使用を中止し、本機の点検・修理を依頼ください。そのまま使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



■ **本機は内蔵電池を使用しております。
一般のゴミと一緒に捨てないでください。**

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。

本機を廃棄するときのご注意



充電式電池のリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池はリサイクルできます。

充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

不要になった本機がございましたら、ご購入の販売店にご相談ください。

使用上のご注意

取り付けについて

- ・運転視界や安全上支障をきたさないフロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲で、運転者の前方の視界を妨げないルームミラーと干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- ・誤った取り付けをした場合は、イベント記録、運転支援機能が正しく動作しないことがあります。取付方向、取付角度など「取り付けかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→P.16)
- ・接続ケーブルの配線をラジオアンテナ付近で行うと、ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の配線をGPSアンテナ、地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。(GPSアンテナからは5cm以上を目安に離す。)
- ・付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたもので取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、乾いたことを確認して取り付けてください。再貼付けや汎用の両面テープなどで取り付けたと接着が弱くなり、本機がはがれ落ちるおそれがあります。
- ・取付ブラケットをフロントガラスに貼り付けた後、取付ブラケット単体で24時間以上放置してください。接着強度が安定します。

- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないようにケーブルクリップで固定するか、市販のソフテープなどでまとめてください。ケーブルクリップは取付場所の汚れや脂分を付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたものできれいに拭き取り、乾いたことを確認してから固定してください。
- ・フロントガラスに突起物(日よけ)などがあるときは、重ならないように避けて取り付けてください。
- ・取付ブラケットを取り付けの際に両面テープの接着面に手を触れないでください。粘着力が低下する可能性があります。
- ・取付ブラケットを貼り付け後にフロントガラスを拭く場合は、両面テープに水分やガラスクリーナーなどのスプレーがかからないように注意し、貼り付けてから10分以上放置後に行ってください。

ご使用について

- ・本機は車両の走行状況を記録するための機器です。
- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・LED信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画されることがあります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。
- ・本機やSDカードに異常が発生していないかの確認を含め、正常に記録されていることを定期的に確認してください。
- ・本機の電源がオンになったときに、エラーメッセージが表示されていないか必ず確認してください。
- ・高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏季は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- ・ご使用前に取付ブラケットの接着面がはがれていないか確認してから、ご使用ください。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

イベント発生時の動作について

- 本機は一定以上の衝撃を検知すると、走行情報や映像などを doco です car のサーバーに自動的に送信します。ただし、衝撃の大きさによっては交通事故でもイベントと認識されない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用する SD カードについて

タイプ	microSDHC microSDXC
容量	32GB～64GB
スピードクラス	Class 10 (CLASS 10) 推奨
ファイルシステム	FAT32 exFAT

付属の SD カード以外はサポート対象外です。

SD カード使用上のご注意

- SD カードを入れる、または取り出すときは、エンジンをオフにして本機の電源を必ずオフにしてください。電源がオンの場合、データや SD カード自体が破損する恐れがあります。
- SD カードを入れた後は、正しく録画ができているか必ず確認してください。
- SD カードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをおすすめします。
- SD カードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失するおそれがあります。
- SD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めのバックアップ（コピー）をしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全に消去されません。使用を中止する際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。SD カード内のデータはお客さまの責任において管理してください。
- SD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所で放置しないでください。

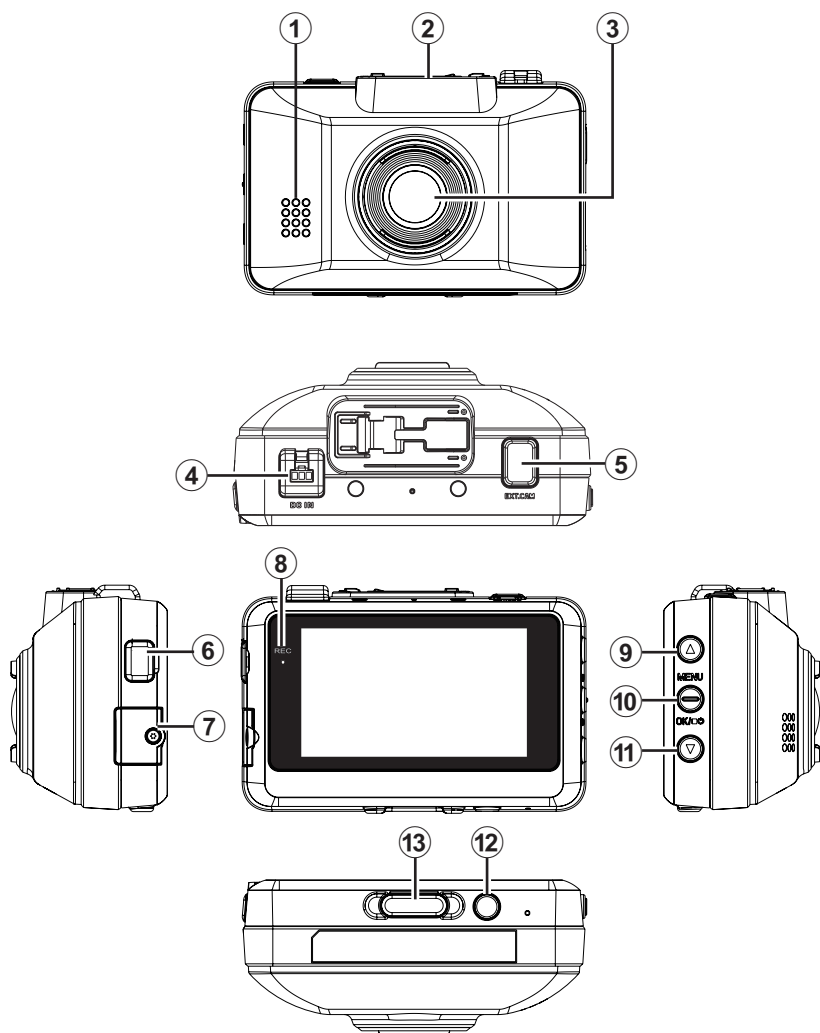
ファームウェア更新について

- 本製品には、起動時に自動でファームウェアを更新する機能があります。更新用ファームウェアは自動でダウンロードされ、ダウンロード後に起動したとき「システム更新を開始します。」と音声の流れで自動的に更新を開始します。数分後に再起動して「システムを更新しました。」と音声の流れると更新完了です。更新中は常時録画、イベント記録、本体のボタン操作などはできません。お客さまに操作をしていただく必要はありませんが、使用できるまでに時間がかかることをあらかじめご了承ください。また、更新中は本機の電源をオフ（車両のエンジンをオフ）にしないでください。

内蔵電池について

- 本機は時計のバックアップをするため MS リチウム二次電池を内蔵しています。
- 購入直後は電池が十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1～2 時間オンにして充電してください。

各部の名称とはたらき



① **スピーカー**

音声ガイドや警告音を出力します。

② **ブラケット取付部**

付属の取付ブラケットを取り付けます。

本機を外すときはレバーを押すとロックが解除されます。

③ **カメラレンズ**

④ **DC アダプターケーブルコネクター端子**

付属の DC アダプターケーブルを接続します。

⑤ **EXT. CAMERA 端子**

専用サブカメラ (STZ-CAM15G、STZ-CAM80G) を接続する端子です。

他のカメラは接続できません。

⑥ **USB 端子**

micro USB Type-B

⑦ **SD カードスロット**

SIM カードスロット

SD カードカバー

録画用の SD カード、SIM カードを挿入して SD カードカバーを閉じます。

(→ P.12、16)

⑧ **REC インジケーター**

- ・電源オンから録画を開始するまでは点滅（青）します。
- ・録画中は点灯（青）します。
- ・記録できない状態のときは、点滅（赤）します。

⑨ **▲ボタン**

- ・メニュー表示中に押すと前の項目に移動します。

⑩ **MENU/OK ボタン**

- ・システム基本設定画面を表示します。
- ・メニュー表示中は決定ボタンとして働きます。

⑪ **▼ボタン**

- ・メニュー表示中に押すと次の項目に移動します。

⑫ **キャンセル/戻る/終了ボタン**

- ・メニュー表示中に押すとキャンセル、戻る、または終了ボタンとして働きます。

⑬ **映像送信ボタン**

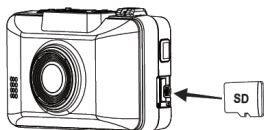
- ・映像送信ボタンを押すとイベント録画をセンターに通知します。画面の左上にイベント録画残り時間が表示されます。
- ・10 秒経過すると自動で停止します。
- ・イベント録画中に[MENU/OK]ボタンを押すと手動で停止できます。

取り付けかた

取り付け手順

1 SD カードを入れる

エンジンをオフにして、本機の電源をオフにしてから、SD カードスロットにカチッと音がするまで SD カードを挿入します。SD カードは下の図と同じ向きに挿入してください。

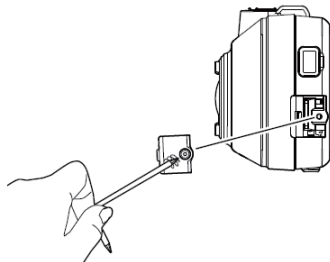


SD カードを取り出すときは、エンジンをオフにして、本機の電源をオフにしてから SD カードを押して、SD カードがポップアップしたら引き抜きます。

SD カードカバーを取り付ける

SD カードを挿入したら、SD カードカバーを本機のネジ穴の位置に合わせるように取り付けます。

その後、SD カードカバーにあらかじめ付属しているネジを、専用（特殊ネジ）ドライバーを使って下の図のようにしっかりと締めてください。



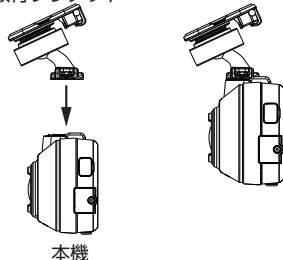
お知らせ

- SD カードが SD カードスロットに挿入されていないと本機は正常に動作しません。
- 本機の電源をオフにせずに SD カードを取り出すと、記録されたファイルが破損・消失することがあります。

2 本機を取付ブラケットに取り付ける

取付ブラケットを本機のブラケット取付部にカチッと音がするまで差し込んでください。

取付ブラケット



本機

3 本機の取付位置を決める

フロントガラスへの取り付けは、国土交通省の定める保安基準*により取付位置が限定されています。

「車種別推奨取付位置」のページを参考にし、取付位置を決めてください。

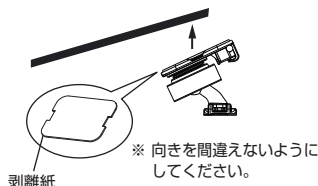
- 「乗用車の推奨取付位置」 (→ P.18)
- 「トラックの推奨取付位置」 (→ P.19)
- 「バスの推奨取付位置」 (→ P.20)

取付位置を決めたら、本機を取付ブラケットから一旦外します。

※ 保安基準：道路運送車両の保安基準 第 29 条（窓ガラス）、細目告示 第 195 条

4 取り付ける面をきれいにし取付ブラケットをフロントガラスに貼り付ける

付属の専用クリーナーで取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。汚れや脂分が残っていると両面テープの粘着力が落ちる可能性があります。拭いた場所が乾いたことを確認してから、取付ブラケットの両面テープの剥離紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付けます。



両面テープに空気が入らないように注意して、上部から下部の方向にフロントガラスに強く押しつけて貼り付けてください。

なお、取付ブラケットをフロントガラスに貼り付けた後、取付ブラケット単体で24時間以上放置することで、接着強度が安定します。

5 落下防止ストラップ（付属品）を取り付ける

同梱の「落下防止ストラップ取り付けガイド」を参考に取り付けてください。

6 セットアップする

本機を取付ブラケットに取り付けなおします。

本機に電源ケーブルを接続し、車両のエンジンをオンにすると本機の電源がオンになります。

本機を初めて使用する際は、セットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

お知らせ

- ・ 初回起動時以外などでセットアップの項目を個別に調整するときは、「車両に合わせて調整する」 (→ P.25) を参照して調整します。

7 電源ケーブルを配線する

「推奨取付位置」 (→ P.18)、および「配線のしかた」 (→ P.22、23) を参考に、ケーブルを配線してください。

取付状態の点検について

走行前に本機の取付状態を点検してください。

以下の場合には、両面テープの接着状態が不十分な可能性がありますので、本書記載のお問い合わせ窓口までご相談ください。

- ① 取付ブラケットとフロントガラスの間に隙間が空いている（空気が入っている）
- ② 取付ブラケットの固定ネジ部分を持ち、軽く引っ張った場合に取付ブラケットがぐらぐらする

※ 必ずエンジンを切った状態で点検してください。

取り付け時の作業環境について

<気温>

- ・ 貼り付け作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温 15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、フロントガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- ・ 温度が低い場合は、ヒートガン等または車のヒーターなどでフロントガラス面内側の貼り付け部とドライブレコーダーの両面テープ部を暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・ 両面テープ部を暖めるときに、ドライブレコーダーを暖めすぎると破損する可能性がありますので、両面テープ部を暖めるときは、数秒だけヒートガン等または車のヒーターなどで暖めてください。
- ・ ドライブレコーダー本体やレンズ部分には、ヒートガン等または車のヒーターなどを使用しないでください。

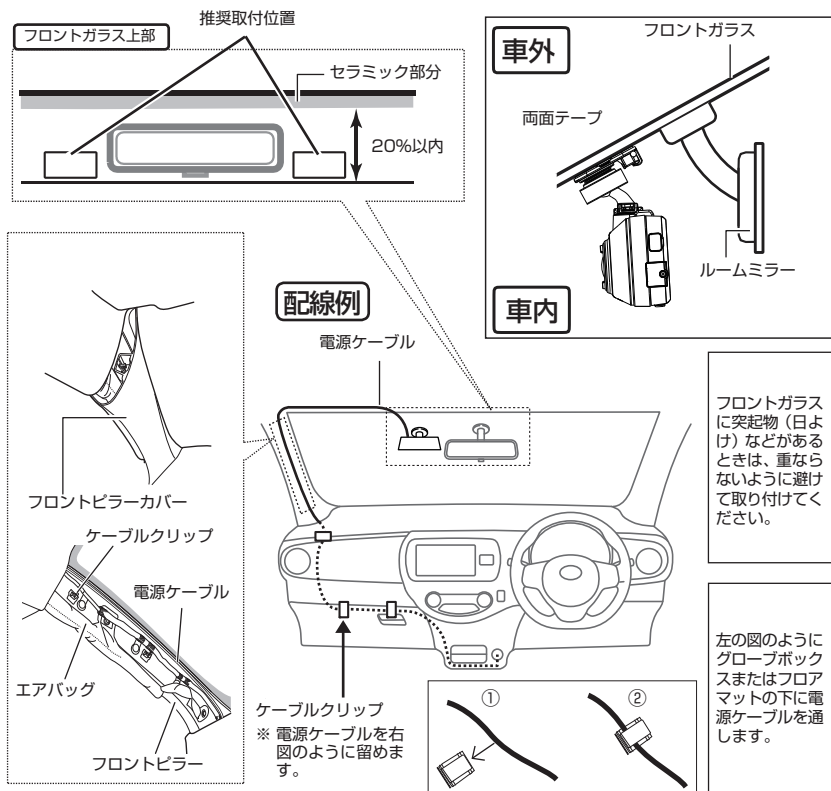
<湿気>

- ・ フロントガラス表面の貼り付け部を乾燥させてから貼り付けてください。
- ・ 室温に比べてフロントガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

推奨取付位置

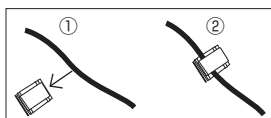
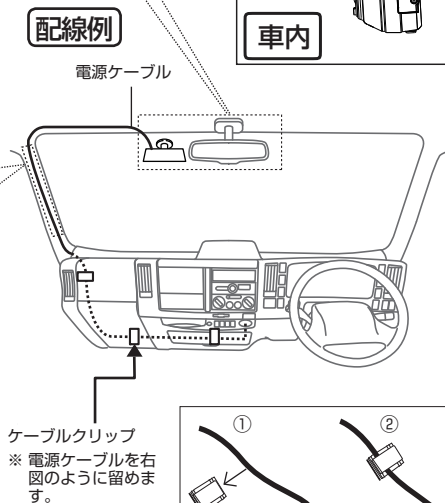
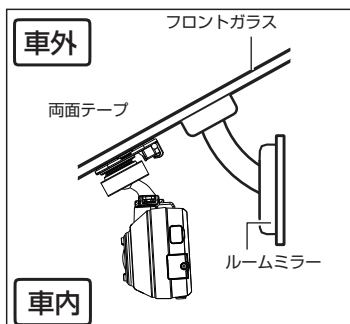
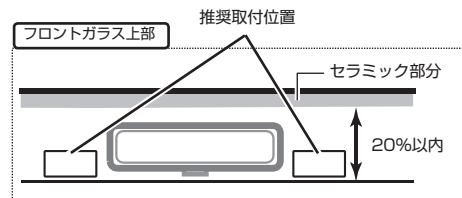
■ 乗用車の推奨取付位置

- ・ フロントガラスの上部から全体の 20% の範囲内で、運転者の前方視界を妨げないルームミラーと干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。



■トラックの推奨取付位置

- ・フロントガラスの上部から全体の20%の範囲内で、運転者の前方視界を妨げないルームミラーと干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。

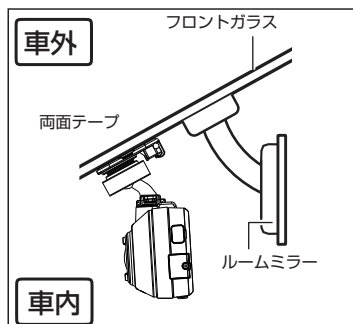
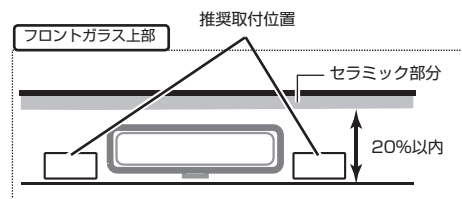


フロントガラスに突起物（日よけ）などがあるときは、重ならないように避けて取り付けてください。

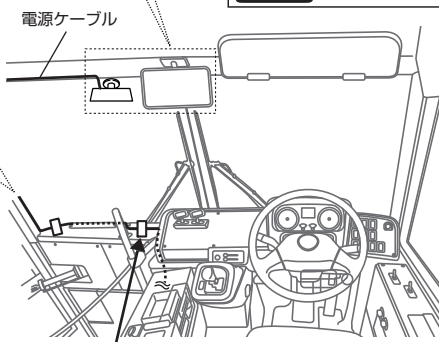
左の図のようにグローブボックスまたはフロアマットの下に電源ケーブルを通します。

■ バスの推奨取付位置

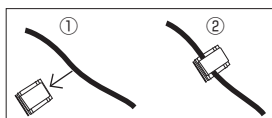
- ・フロントガラスの上部から全体の20%の範囲内で、運転者の前方視界を妨げないルームミラーと干渉しない位置に取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。



配線例



ケーブルクリップ
※ 電源ケーブルを右図のように留めます。



フロントガラスに突起物（日よけ）などがあるときは、重ならないように避けて取り付けてください。

注意

電源ケーブルをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。

- 電源ケーブルは運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して、助手席側に取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブルクリップはフロントガラスには貼らないでください。
- ケーブルクリップは取付場所の汚れや脂分を付属の専用クリーナーまたは市販のクリーニングクロスにエタノールをしみこませたものできれいに拭き取り、乾いたことを確認してから固定してください。
- ケーブルクリップでケーブルが固定できないところは、市販のソフトテープなどでまとめてください。

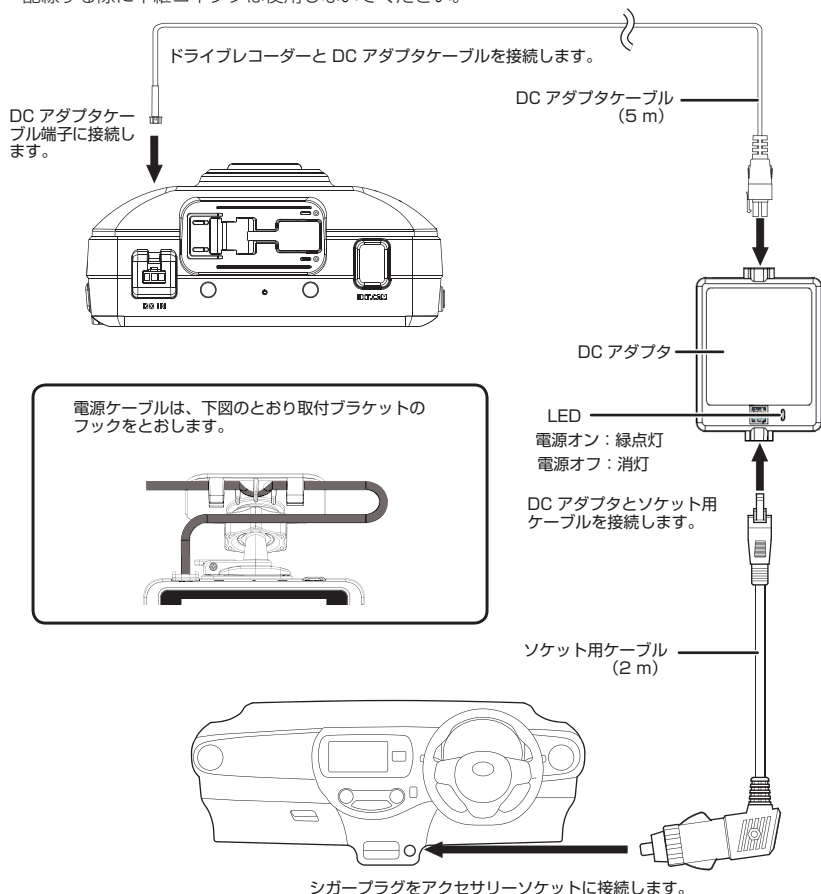
電源ケーブルの配線と電源ケーブルのボックス部分の固定は、下記の点に注意して配線してください。

- 電源ケーブルが長すぎて余った場合は、グローブボックスの裏やフロアマット下の安全で邪魔にならない場所にまとめて固定してください。このときに、テープ類や結束バンドなどを使用して確実に固定してください。
- 電源ケーブルのボックス部分は、助手席の下または助手席の同乗者が足で踏みつけることのない安全な場所に面ファスナーで固定してください。

配線のしかた

ソケット用ケーブル（付属品）の接続

- 配線する際に中継コネクタは使用しないでください。



⚠ 注意

付属の電源ケーブルを切ってドライブレコーダーへ直接 12/24V を供給しないでください。故障の原因となります。(DC アダプタで 12/24V を 5V に変換しています。)

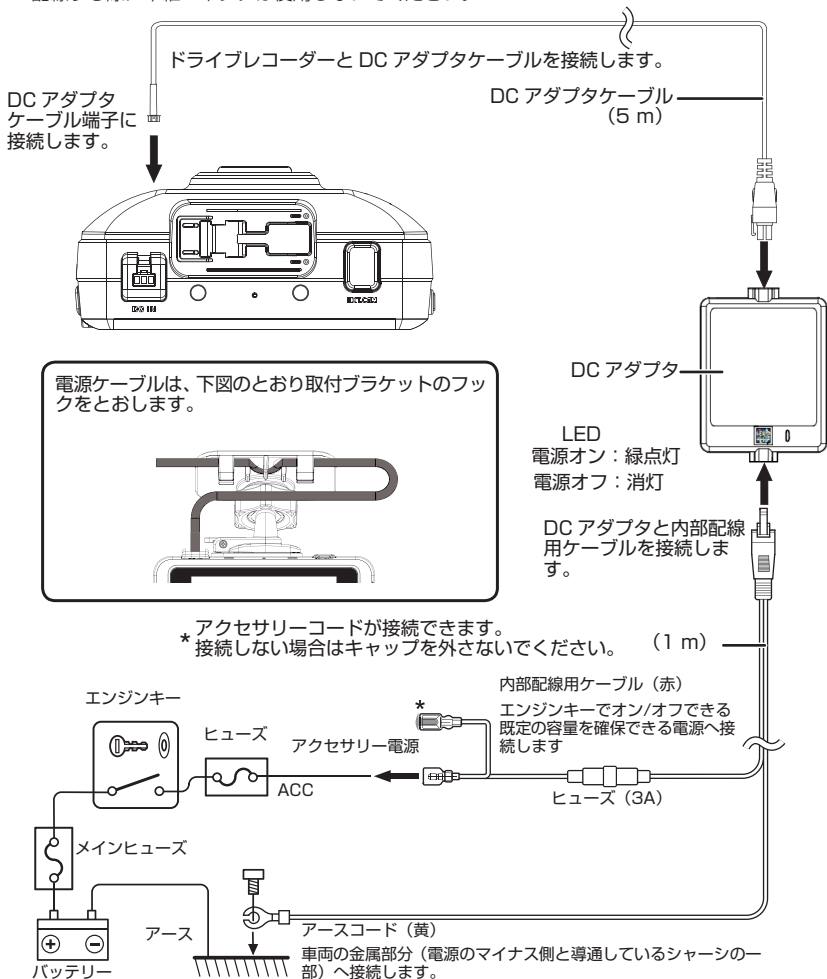
内部配線用ケーブル（付属品）の接続



注意

接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

- 配線する際に中継コネクタは使用しないでください。



- 内部配線ケーブル (赤) を常時電源に接続しないよう注意してください。バッテリー上がりの原因となります。

取りはずすときは

■ 本機を取付ブラケットから取り外す場合

取付ブラケットのレバーを押し、ロックを解除の状態にしたまま本機をスライドさせて、取り外してください。

■ 取付ブラケットをフロントガラスから取り外す場合

樹脂製のへらを取付ブラケットとフロントガラスの間に差し込み、ガラス面に傷をつけないように少しづつ両面テープをはがしてください。

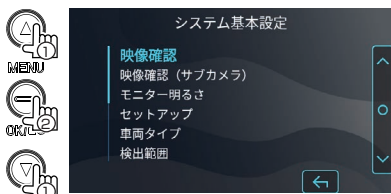
車両に合わせて調整する

車両に合わせて調整する

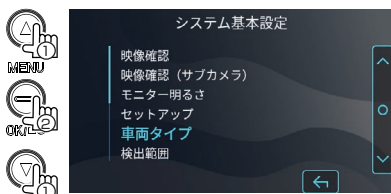
運転支援機能を使用するために、本機を取り付ける車両のタイプを選び、本機の取付位置や取付角度、車両に合わせて地平線やボンネット先端の位置を調整します。

1 【MENU/OK】 ボタンを押す

システム基本設定を表示します。



2 【▲】 / 【▼】 ボタンを操作して<車両タイプ>を選択し 【MENU/OK】 ボタンを押す



3 【▲】 / 【▼】 ボタンを操作してご使用の車に最も近い車両タイプを選択し 【MENU/OK】 ボタンを押す

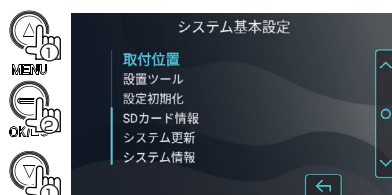


※車両タイプ選択のヒント

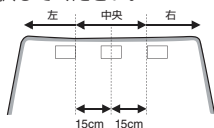
ご使用の車両タイプがご不明な場合は下表より最も近い車両タイプを選択してください。

車両タイプ	取り付け高さ (mm)	車幅 (mm)	車両先端長 (mm)
軽自動車	1200	1480	1300
軽自動車 (ハイルーフ)	1350	1480	900
乗用車	1200	1700	1800
乗用車 (ハイルーフ)	1350	1700	1900
トラック (2 t)	1800	1700	500
トラック (4 t)	2100	2250	500
トラック (10 t)	2700	2500	500
その他	2000	2000	500

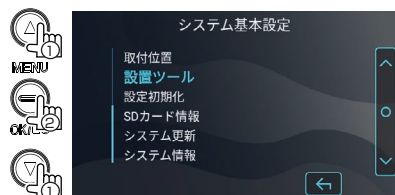
4 【▲】 / 【▼】 ボタンを操作して<取付位置>を選択し 【MENU/OK】 ボタンを押す



- 5 ▲ / ▼ ボタンを操作して本機の取付位置を選択し [MENU/OK] ボタンを押す
車内から見て、本機を中央から左右 15cm 以内に設置したときは中央、中央から 15cm より右側に設置したときは右、中央から 15cm より左側に設置したときは左を選択してください。



- 6 ▲ / ▼ ボタンを操作して<設置ツール>を選択し [MENU/OK] ボタンを押す



- 7 ▲ / ▼ ボタンを操作して<水準器>を選択し [MENU/OK] ボタンを押す



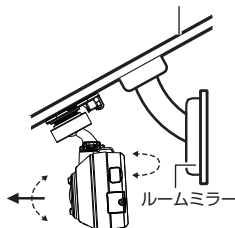
- 8 本機の取付角度を調整する
動く円が、できるだけ画面中央に近づくように角度を調整し、調整が完了したら [MENU/OK] ボタンを押します。



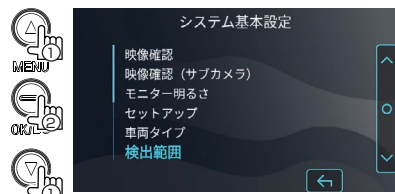
画面中央に設定されていない



フロントガラス



- 9 ▲ / ▼ ボタンを操作して<検出範囲>を選択し [MENU/OK] ボタンを押す



10 **【▲】 / 【▼】 ボタンを操作してガイド線（白点線）を地平線に合うように微調整して【MENU/OK】 ボタンを押す**

図のように調整します。



このガイド線（白点線）を地平線に合わせる。

お知らせ

- ボンネットが映像に映らない車種はガイド線（白線）を設定できる一番下まで下げてください。

11 **【▲】 / 【▼】 ボタンを操作してガイド線（白線）をボンネット先端に合うように微調整して【MENU/OK】 ボタンを押す**

図のように調整します。



このガイド線（白線）をボンネット先端に合わせる。

12 **【▲】 / 【▼】 ボタンを操作してガイド線（白線）が走行車線遠方の中央になるように微調整する**

図のように調整します。



このガイド線（白線）を走行車線遠方の中央に合わせる。

13 **【MENU/OK】 ボタンを押して終了する**

ご使用の前に

電源のオン / オフについて

車両のエンジンをオンにすると本機の電源がオンになり、1 分程度で録画画面（画面中央に●録画中表示がでている画面）が表示され、常時録画が始まります。エンジンをオフにすると終了処理に入り、数秒後に電源がオフになります。

お知らせ

- エンジンをオンにして 1 分程度で常時録画が開始されるため、エンジンをオンにした直後の映像は録画されません。
- 車種によって、エンジンをオフにしてもアクセサリソケットに電気が供給されている場合があります。この場合は、アクセサリソケットからソケット用ケーブルを抜いてください。

電源オン時の録画と記録

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。

- ・ 常時録画の最大録画時間は、使用する SD カードの容量によります。
- ・ 常時録画は 5 分ごとにファイルを分割して保存します。
- ・ 常時録画では SD カードの録画領域がなくなると古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

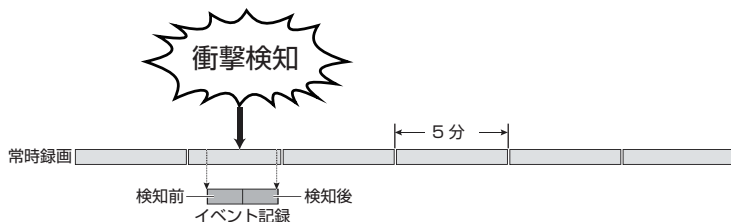
■ 録画ファイルの保存場所

- ・ SD カード内の「NORMAL（常時録画）」フォルダに保存されます。（→P.42）

イベント記録

運転中に車両に大きな衝撃が加わった場合、イベント記録を開始します。

- ・ イベント記録が終了する前にさらに衝撃を検知しても、記録時間の延長はしません。
- ・ イベント記録では SD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きしてイベント記録を続けます。



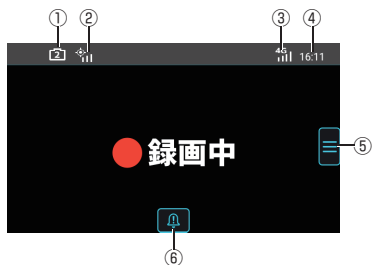
■ 録画ファイルの保存場所

- ・ SD カード内の「EVENT（イベント記録）」フォルダに保存されます。（→P.42）



- ・ 衝撃を検知しても、必ずイベント記録をするわけではありません。
- ・ 実際の交通事故でも、衝撃の大きさによっては事故と判断しない場合があります。

録画面面のインジケーター



（録画面面ではカメラの映像は表示しません）

① サブカメラ接続済み

サブカメラ（別売）の接続を認識している時に表示されます。

② GPS 電波強度

③ LTE 受信強度

お知らせ



SIM カードエラー

挿入されている SIM カードに何らかの問題があるときに表示します。このインジケーターが表示されたときは、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

④ 現在時刻

お知らせ

測位衛星の信号、またはデータ通信の時刻データが正常に受信できるまでは正しい時刻に設定されません。

⑤ ボタンガイド（MENU）

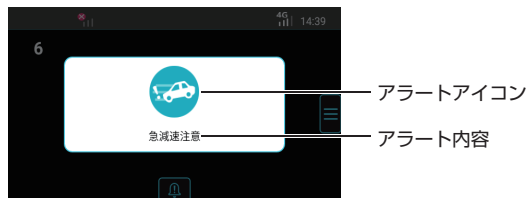
⑥ ボタンガイド（映像送信）

お知らせ

録画面面ではカメラの映像は表示しません。カメラの映像を確認したいときは、[システム基本設定]→[映像確認]を選択してください。

イベント・アラート発生画面

衝撃発生時、アラート発生時に表示されます。

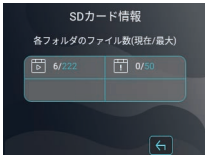


	衝撃を検知しました		右車線注意
	急加速注意		居眠り注意
	急減速注意		脇見注意
	急ハンドル注意		速度超過注意
	衝突注意		これら以外のアラート
	左車線注意		

各種設定をする

システム基本設定から各種基本設定が設定できます。

* 初期設定

映像確認	本機のカメラの映像を液晶画面で確認できます。
映像確認（サブカメラ） ※ サブカメラを接続した時、システム基本設定に表示されます。	サブカメラの映像を液晶画面で確認できます。 UP ボタン：赤外線 LED の ON/OFF 設定ができます。 OK ボタン：映像反転(180°)の設定ができます。
モニター明るさ	11 段階 液晶画面の表示の明るさを設定します。
セットアップ	運転支援機能の精度を上げるために設定します。
車両タイプ	軽自動車/軽自動車（ハイルーフ）/乗用車*/乗用車（ハイルーフ）/トラック（2 t）/トラック（4 t）/トラック（10 t）/その他
検出範囲	運転支援機能を使用する前に水平線やボンネットの先端位置を調整します。（→ P.25）
取付位置	左/中央*/右 本機を取り付けた水平方向の位置を設定します。（→ P.25）
設置ツール	水準器 本機の傾きを確認できます。
	衛星受信状態 測位衛星の受信強度画面を表示します。
設定初期化	本機の設定を初期状態に戻します。 実行すると再起動してセットアップ画面を表示します。 表示にしたがって設定を行ってください。
SD カード情報	SD カード情報画面を表示します。 
システム更新	本機のファームウェアを更新します。
システム情報	システムバージョン 本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	SIM 情報 本機で使用している SIM カードの情報を表示します。
	オープンソースライセンス 本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

ビューアーソフトを使う

STZ VIEWER for FLEET は、本機で録画した映像を表示するためのパソコン用の専用ビューアーソフトです。

ソフトをインストールする

パソコンにダウンロードしたアプリケーションソフトのインストーラーをダブルクリックして画面上の指示に従い、STZ VIEWER for FLEET をインストールする

ファイルを再生する

- 1 SD カードを本機から取り外し、付属の SD カード変換アダプタに挿入してから、カードリーダー(市販品)を使用してパソコンに接続する

- 2 STZ VIEWER for FLEET を起動する
(→ P.33)

- 3 ドライブ一覧から SD カードのドライブを選択する

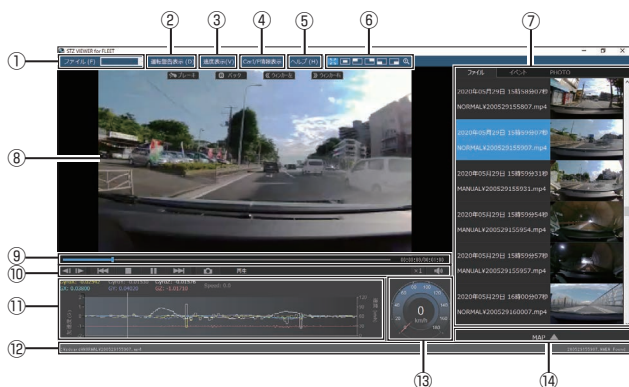


パソコンに保存しているファイルを再生する場合は、ファイル(F)の<フォルダを選択する(S)>で保存先のフォルダを選択してください。

- 4 [ファイル]、[イベント]、[PHOTO] タブから、再生したいファイルを選択し再生する

ファイル	全ファイルを表示します。
イベント	イベント記録のファイルを表示します。
PHOTO	静止画記録のファイルを表示します。

STZ VIEWER for FLEET 画面



① ファイル操作

ファイル選択や、SD カードのファイルをパソコンにバックアップするなど、ファイルの操作を行います。

フォルダを選択する(S)	SD カードのドライブや、パソコンにバックアップしたフォルダを選択します。
kmz/kml にエクスポート (E)	OpenStreetMap 地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。
バックアップ (B)	必要に応じて SD カードのファイルをパソコンのハードディスクなどにバックアップします。
終了(X)	パソコンのアプリケーションを終了します。

(ドライブ一覧)

SD カードに保存されているファイルを再生するときに使用します。

② 運転警告表示

運転警告表示の ON/OFF を設定します。
ON にすると再生バーにアラートのアイコンを表示します。

③ 速度表示

スピードメーターと速度表示の ON/OFF を設定します。
ON にするとスピードメーターと G センサーチャートに車の速度を波形で表示します。

④ Carl/F 情報表示

Carl/F 情報使用の ON/OFF を設定します。
ON にすると速度表示とスピードメーターに車速パルスを利用した速度情報が表示されます。
OFF にすると速度表示とスピードメーターに GPS で取得された速度情報が表示されます。
※本機能のご利用には別途お申込みが必要となります。

⑤ ヘルプ

ビューアソフトのバージョンを表示します。

⑥ 映像再生画面選択

再生している映像を拡大表示します。

	拡大表示したときに、押すと通常画面に戻ります。
	画面中央、左上、右上、左下、右下を拡大表示します。
	表示される枠を動かして、任意の場所を最大 5 倍で拡大表示します。[リセット]を押すと等倍表示(1 倍)になります。

⑦ ファイルリスト

選択タブで選んだファイルとサムネイルを一覧で表示します。

SD カードが暗号化されている場合は、カギマークのアイコンが表示されます。

⑧ 映像画面

選択したファイルの映像を表示します。

再生バーを操作すると、任意の場所に移動できます。

専用サブカメラを接続して撮影したファイルは、本機の映像と専用サブカメラの映像を2分割で表示します。

一方の映像画面をダブルクリックするとその映像のみとなり、クリックすると2分割の画面に戻ります。

⑨ 再生バー / 再生時間 / 総再生時間 / 運転警告表示

	衝撃検知アラートのアイコン
	急加速アラートのアイコン
	急減速アラートのアイコン
	急ハンドルアラートのアイコン
	前方衝突アラートのアイコン
	左車線アラートのアイコン
	右車線アラートのアイコン
	居眠りアラートのアイコン
	脇見アラートのアイコン
	速度超過アラートのアイコン
	上記以外のアラートのアイコン

(注) 専用サブカメラ接続時のみ機能します (別売)

⑩ 操作ボタン

映像再生、停止などの操作ボタンです。

	前または後のコマを表示します。
	再生中のファイルの頭にに戻ります。/ 次のファイルを再生します。
	再生を停止します。
	再生中に押すと一時停止します。 一時停止中に押すと再生します。
	押したところで、映像を静止画として取り込みます。
	再生状態などの動作を表示します。
	再生速度を変更します。 (x1/2, x1, x2, x4, x8, x16)
	音量を調整します。 (0~100)

⑪ G センサーチャート

車の前後(GX)、左右(GY)、上下(GZ)方向の動きの加速度と車の速度を波形で表示します。

⑫ 再生中のファイルのパス

⑬ スピードメーター

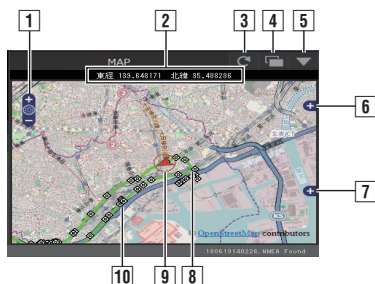
車の速度を表示します。

お知らせ

- 車の速度は実際の速度とは異なります。
目安としてください。

⑭ 地図表示ボタン（インターネット環境がないパソコンでは地図表示は使用できません）

ファイルリストをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。地図が表示されていないときは **MAP ▲** をクリックしてください。



① 地図を拡大/ 縮小します。

② 緯度・経度を表示します。

③ 地図を再読み込みします。

④ 地図を別ウィンドウで開きます。

⑤ 地図を非表示にします。 **MAP ▲** をクリックすると地図を表示します。

⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。

⑦ 広域の地図で表示します。

⑧ 経路

2 日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目
青	赤	緑	白	桃色	水色	黄色

⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

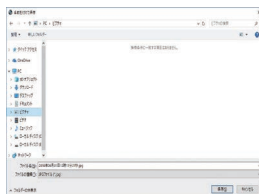
お知らせ

- SD カードの録画容量がなくなると古いファイルは上書きされて消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 地図上の自転車位置は本機に内蔵している測位衛星アンテナを使用しています。ビル街、トンネル、高架下など測位衛星信号の受信環境が悪い場所の走行では、自転車位置が正しく表示されないことや実際の走行軌跡がずれることがあります。
- SD カードを本機に戻すとき、本体の向きが変わらないように注意するか、水準器を再確認してください。

映像から静止画を出力する

再生している映像から任意の場所の映像を取り込んで静止画として出力します。

- 1 映像を取り込みたいファイルを選択し再生する
- 2 取り込みたいところで **[]** ボタンを押す
- 3 保存先のフォルダを選択しファイル名を付ける



- 4 **[保存]** ボタンを押す

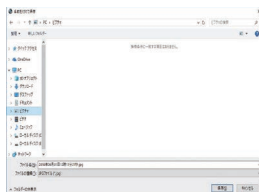
お知らせ

映像画面に表示している状態の静止画になります。

走行情報を出力する

OpenStreetMap 地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。

- 1 ファイル(F)から **<kmz/kml にエクスポート(E)>** を選択する
- 2 バックアップ先のフォルダを選択し、ファイルの種類「KML/KMZ」を選択してファイル名を付ける



- 3 **[保存]** ボタンを押す

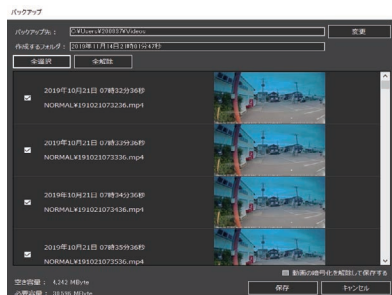
お知らせ

使用方法は、OpenStreetMap 地図サービスのヘルプをご覧ください。

ファイルをバックアップする

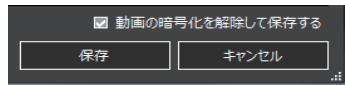
必要に応じて SD カードのファイルをパソコンのハードディスクなどに保管します。

- 1 ファイル(F)から**<バックアップ(B)>**を選択する
- 2 バックアップ先のフォルダを選択する
- 3 保存したいファイルにチェックマークをつけて保管するファイルを選択する
- 4 **[保存]** ボタンを押す



お知らせ

暗号化されているファイルをバックアップする場合は「動画の暗号化を解除して保存する」にチェックを入れて保存すると通常のプレイヤーでも再生をすることができます。




故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからないときは、本書記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

共通

症状	原因 / 対処方法
電源がオンにならない。	<ul style="list-style-type: none">・ 車両のアクセサリソケットの電源が入っていない。<ul style="list-style-type: none">- 車両のアクセサリ電源（ACC）スイッチをオン、またはエンジンをかけてください。- シガープラグ使用時は、シガープラグの差込みを確認してください。 内部配線用ケーブル使用時は、内部配線用ケーブルと電源ボックスとの差込みを確認してください。・ シガープラグまたは内部配線用ケーブルのアクセサリーのヒューズが切れている。<ul style="list-style-type: none">- 車両のアクセサリ電源（ACC）スイッチをオン、またはエンジンをオンしても電源ボックスのLED が点灯しないときは、エンジンをオフにして、本書記載のお問い合わせ窓口までご相談ください。・ 電源ケーブルの接続が、間違っている。<ul style="list-style-type: none">- 本書記載のお問い合わせ窓口にお問い合わせのうえ、専門技術者に接続の確認を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none">・ 録画できない。・ ① 00 が画面に表示されている。	<ul style="list-style-type: none">・ SD カードが入っていない。・ 8GB～128GB 以外の SD カードを挿入した。・ SDHC、SDXC 規格に準拠していない SD カードを挿入した。<ul style="list-style-type: none">- 本機で使用可能な SD カードを SD カードスロットに挿入してください。・ 本機内部の温度が高温になっている。<ul style="list-style-type: none">- 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
モニター画面に映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">・ 録画中<ul style="list-style-type: none">- 録画中はモニター画面に映像は出ません。カメラの映像を確認するときは、システム基本設定画面から”映像確認”を実行してください。
GPS 信号を受信しない。	<ul style="list-style-type: none">・ 衛星信号はトンネルや建物の中にいる場合、受信できません。 また悪天候や頭上の障害物などの影響を受ける可能性があります。
LTE 通信ができない。	<ul style="list-style-type: none">・ 本機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTE サービスエリア外ではサーバーとの通信ができない場合があります。

症状	原因 / 対処方法
エンジンを切っても本機の電源がオフにならない。	<ul style="list-style-type: none"> 一部の輸入車など、エンジンを切ってもアクセサリソケット電源が切れない車種 シガープラグ使用時は、降車時にシガープラグを抜いてください。 内部配線用ケーブル使用時は、電源ボックスに接続している内部配線用ケーブルのコネクタを抜いてください。
エンジンを切っていないのに電源がオフになった。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の温度上昇により安全のため自動的に電源がオフになった。 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され電源が入る状態になります。
 が画面に表示されている。	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因で、SIM カードが認識できない。 本機の電源をオフにして、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

表示メッセージと音声ガイド

次のメッセージを表示したときは、一覧に従って対処してください。

🔊マークのあるメッセージは、音声でも案内されます。

メッセージ	原因 / 対処方法
SD カードが挿入されていません 🔊	<ul style="list-style-type: none"> SD カードスロットに SD カードが未挿入の状態電源をオンにした。 「本機で使用する SD カードについて」を参照して、本機で使用可能な SD カードを SD カードスロットに挿入してください。
SD カードにアクセスできません 🔊	<ul style="list-style-type: none"> SD カード上のファイルが認識できない。 本機の電源を入れ直してください。 本機の電源をオフにして、SD カードを入れ直してください。 SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 認識できない SD カードが挿入されている。 「本機で使用する SD カードについて」を参照して、本機で使用可能な SD カードを SD カードスロットに挿入してください。
非対応の SD カードです 🔊	<ul style="list-style-type: none"> 8GB 未満または 128GB を超える容量の SD カードが挿入されている。 「本機で使用する SD カードについて」を参照して、本機で使用可能な SD カードを SD カードスロットに挿入してください。

メッセージ	原因 / 対処方法
録画を中止しました 🔊	<ul style="list-style-type: none"> SD カードの不良により、録画ができなくなった。 何らかの不具合が発生して録画が中止された。 スピードクラスが適合しない SD カードを使用し、録画が中断された。 <ul style="list-style-type: none"> SD カードを挿入し直してください。 新しい SD カードに交換してください。 適合する SD カードに交換してください。
高温のためモニター画面を消灯します 🔊	<ul style="list-style-type: none"> 本機の温度上昇によって機器が故障しないようにモニター画面を消灯します。モニター画面消灯中も録画は継続しています。 <ul style="list-style-type: none"> 車内の温度を下げてください。保護回路が解除されモニター画面が点灯します。
高温のため録画を中止しました 🔊	<ul style="list-style-type: none"> 本機の温度上昇により録画ができなかった。 <ul style="list-style-type: none"> 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
システムエラーが発生しました 🔊	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因で、正常な動作ができなくなった。 <ul style="list-style-type: none"> エンジンをオフにして、本機の電源をオフにしてから、本機の電源を入れ直してください。 本機の電源をオフにして、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
SIM カードエラーです 🔊	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因で、SIM カードが認識できない。 <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオフにして、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

付録

運転支援機能について

- ・運転支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警告するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、前方車との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機を取扱説明書にしたがい正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生した場合でも当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・車線逸脱アラートはウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときに警告音が鳴ります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - トンネルや高層ビル街など測位衛星信号が正しく受信できない場所。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射などにより車が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や塗装色、光の加減などによって車両と認識できない場合。
 - 天候(雨・雪・濃霧など)、時間帯(朝方・夕方・夜間など)、逆光、交通状況(渋滞・歩行者など)による変化。
- ・ダッシュボードに物などが置かれていると、フロントガラスに映り込み正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

モニター画面について

- ・画面に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- ・画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。

- ・極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- ・画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- ・液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

測位衛星(GPS、GLONASS(グロナス)、みちびき)の受信について

- ・本機の電源がオンになると測位を始めます。衛星の測位状況によっては、測位が完了するまで、5分程度かかる場合があります。
- ・衛星信号は、トンネルや建物の中にいる場合、測位は使用できません。信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、樹木、トンネル、高架橋または高層ビル)などの状況の影響を受ける可能性があります。衛星信号が正しく受信できないときは速度や位置情報などが正しく表示されません。
- ・測位データは、参考値です。

LTE 通信について

- ・本機は、LTE 方式(2GHz、800MHz)に対応しています。
- ・本機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTE サービスエリア外ではサーバーとの通信ができない場合があります。

商標、ソフトウェアに関する 重要なお知らせ

- microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- OpenStreetMap は OpenStreetMap 財団の登録商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標です。
- Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。
- CCDS サーフティフィケーションマークは、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会の登録商標です。
- 本機は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。

- (1) 消費者が個人的かつ非営利目的で MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
- (2) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの)を再生する場合

詳細については、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。

<https://www.mpegla.com/>

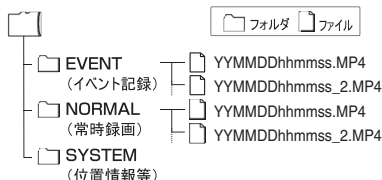
フォルダ / ファイル構成

SD カードに録画または記録したファイルは、項目毎のフォルダに保存されます。ファイル名は録画または記録された年月日と時間で自動的に付けられます。

お知らせ

- SD カード内にあるファイルをパソコンなどで変更または削除しないでください。本機やパソコンのアプリケーションで正しくファイルが再生できなくなることがあります。
- 正しい時刻が取得できていないときは、録画または記録された年月日と時間とは異なるファイル名になり、ファイル名の最後に "_UNKNOWN" が付きます。

ルートフォルダ



ファイル名表記について

- ドライブレコーダーの映像ファイル

YYMMDDhhmmss.MP4
年 月 日 時 分 秒

- 専用サブカメラの映像ファイル
日時の後ろに "_2" が付いています

お知らせ

- 上記以外のフォルダが表示される場合がありますが、動画、位置情報等には関係ありません。

STZ VIEWER for FLEET 動作環境

Windows 版

対応 OS	Windows 8.1/8.1 Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 10 mobile は除く
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
インターネット	インターネット接続環境 (地図データ取得、および復号 化鍵取得)

Mac 版

対応 OS	macOS High Sierra (10.13) macOS Mojave (10.14) macOS Catalina (10.15)
CPU	Core i3 2GHz 以上
メモリ	4GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Mac で使用可能なサウンド再生 機能
インターネット	インターネット接続環境 (地図データ取得、および 復 号化鍵取得)

主な仕様

■ 本体

動作温度範囲	-20° C ~ + 60° C
外形寸法 (W×H×D)	W: 約 101 mm、H: 約 65 mm、D: 約 46.5 mm (取付ブラケット取り付け時の高さ 約 109 mm ~ 118 mm)
本体質量 (重さ)	約 190 g (microSD カード含む。ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧	5 V
消費電流 (最大)	2.6 A (電源電圧 5 V 時)
G センサー	レンジ: - 8 G ~ +8 G
測位衛星アンテナ	内蔵 (GPS 対応、GLONASS (グロナス) 対応、みちびき対応)
記録メディア	microSDXC/SDHC カード 8GB~128GB 対応、Class10 (CLASS10) 推奨

■ 映像仕様

モニター部

画面サイズ	3.0 型 フルカラー TFT 液晶
-------	--------------------

カメラ部

画素数	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	約 200 万画素
最大記録画角	水平:約 145 度× 垂直:約 76 度
レンズ	広角、F 値:2.0
録画フォーマット (動画)	MP4 (映像:H.264 音声:AAC)
音声記録	ON/OFF 可
HDR	ON 固定
電源電圧	DC 12V-24V
消費電流 (最大)	3.5A (電源電圧 12V 時)

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は 2020 年 8 月現在のもので、内容は予告なく変更することがあります。
- 本書に描かれているイラストは、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

- ・ 本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれにドコモ・システムズ、製造元または第三者の著作権が存在します。
- ・ 本機は、製造元および第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント(以下、「許諾ソフトウェア」)を使用しております。
- ・ 許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License (以下、「GPL/LGPL」) のライセンスが適用される結果、実行可能な形式のソフトウェアコンポーネントを配布する際に、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にすることが求められています。当該ソースコードの頒布に関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願い致します。
ホームページアドレス
<https://www3.jvckenwood.com/download/gpl/index.html>
なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予めご了承ください。
- ・ 「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェアにつきましては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
- ・ 「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
- ・ 適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。

- ・ 当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。
- ・ 本機に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客さま自身でご利用いただく場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお、各ライセンスはドコモ・システムズおよび製造元以外の第三者による規定のため、原文(英文)を本機のディスプレイ内で表示します。

- ① ドライブレコーダーの電源を入れる。
 - ② [MENU/OK] ボタンを押す
 - ③ <MENU> ⇒ <システム情報> ⇒
<オープンソースライセンス>と選択する

アフターサービス

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、本書記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→P.37）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

商品に関するお問い合わせ

商品に関するお問い合わせは、本書記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

お問い合わせ窓口における個人情報の取扱いについて

お問い合わせ窓口でお受けしたお客様の氏名、住所、電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。

お問い合わせ窓口

ドコモ・システムズ株式会社「doco です car 担当」

0120-861-374（無料）

【受付時間】【平日】10：00～17：00（土・日・祝祭日を除く）

